

沖縄防衛局が進める沖縄県東村高江区周辺における米軍ヘリパッド建設の即時中止

及び

北部訓練場の将来的全面返還を求める請願書

200 年 月 日

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

請願理由

1 東村には既に15箇所のヘリパッドがあり、高江区民は爆音や墜落の危険にさらされています。新たに建設される6箇所のヘリパッドは高江区を中心に数キロ範囲内に予定されていて、一番近い民家からわずか400メートルという距離です。また米軍司令官の発言によりMV22オスプレイ新型機が配備されることが分かりました。この新型機は墜落事故が多発し米国内でも配備への反対運動が起き、米軍事専門家の中からも反対意見が出ています。

2 ヘリパッドが建設されようとする米軍北部訓練場は、福地ダムなど五つのダムが点在し、沖縄本島の生活用水の60%を賄う貴重な水源地です。沖縄を訪れる観光客もまた、この水がめに依存しています。今年に入り福地ダム、新川ダムに投棄されたペイント弾、照明弾などの弾薬類が1万発以上もみつき、水に対する安全性が疑われたままです。さらにベトナム戦争時、北部訓練場において米軍が枯葉剤散布をしていたというショッキングな事実も明らかになりました。このヘリパッド建設によってダム周辺地域での米兵によるジャングル戦闘訓練が激化し、更なるダム汚染が懸念されます。また訓練機の墜落事故による汚染という事態にもなりかねません。

3 ヘリパッドが建設されようとする地域には、ヤンバルクイナやノグチゲラなど、絶滅危惧種に指定されている貴重な動植物が生息しています。また三度も世界遺産候補となり、地球規模で見ても非常に自然度の高い場所です。ヘリパッド建設はどんなに配慮したところでこれらの貴重な自然の大規模な消滅を招きます。また旧那覇防衛施設局が環境影響評価を行いました。WWF ジャパンなど各環境保護団体により、その建設ありきのずさんさ、違法性が指摘されています。

現在、沖縄県東村高江区周辺に2007年7月から、名護市辺野古への米軍新基地建設と連動して、ヘリパッド(ヘリコプター離着陸帯)の建設が着手されています。しかし地元住民は24時間体制で座り込みを続け、建設の進行を止めています。

豊かな自然に囲まれた高江区は戦争のできる国に向かう日本の最前線となってしまいました。このことは沖縄だけの問題ではありません。いずれ日本全国各地で起こりうることもあります。

自らのそして子供たちの命を守る声を、国に届けるために賛同の署名をお願いします。

請願項目

- 1 沖縄防衛局が進めている沖縄県東村高江区周辺における6箇所のヘリパッド建設を即時中止すること。
- 2 米軍北部訓練場を将来的に全面返還すること。

氏名 / name	住所 / address

* 署名欄に住所を書く際、ご家族などで同じ場合でも省略せずにお書き下さい。

* 個人情報(署名用紙に記入された氏名・住所)は国会請願として提出する以外に使用することはありません。

送付先:「ヘリパッドいらない」住民の会 〒905-1201 沖縄県東村高江上新川85-2

電話: 携帯090-9789-6396 (石原)

ブログ: やんばる東村高江の現状 <http://takae.ti-da.net/>